



REM 睡眠行動異常症の患者様へ

The Japan Parkinson's Progression Markers Initiative (J-PPMI)のお知らせ

REM 睡眠行動異常症 (RBD) の患者様は、パーキンソン病などの病気を発症するリスクが高いということが最近わかってきました。そこで RBD の患者様を対象に、どのような方がどのような経過でパーキンソン病などの病気になることがあるのかを明らかにするために定期的に診察や検査を行う研究 (J-PPMI) を始めました。

●対象：以下の2つの条件を満たす REM 睡眠行動異常症の患者様
なお、RBD の確定診断には睡眠検査が必要です。
睡眠検査をなさっているかどうかは、主治医にご確認ください。

① 60 歳以上

② パーキンソン病、多系統萎縮症等の神経変性疾患と診断されていない

●期間：4年間6か月ごとに診察・検査を受けます。この間に3か月ごとに電話による簡単な質問があります。

●検査内容：脳 MRI、DaT SPECT、MIBG 心筋シンチ、心理テスト、採血、脳脊髄液採取など

●費用負担：患者様の負担はありません。
ご協力費として薄謝を進呈させていただきます。

※もしパーキンソン病や多系統萎縮症などを発症された場合、本研究参加は停止となります。
その後は、神経変性疾患の診療に習熟した当院の神経内科専門医による、通常の保険診療を受けることもできます。

ご興味をお持ちの方は下記 J-PPMI 事務局にご連絡ください。

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院

National Center of Neurology and Psychiatry (NCNP)

J-PPMI 事務局 電話 042-341-2712(内線 3233)

ホームページアドレス：<http://www.j-ppmi.jp>

